

かえで接骨院

(鍼灸院併設)

新潟県新潟市太平2-15-3

TEL/FAX.025-275-1171

対談

院長

岩野 現

柔道整復師・鍼灸師
柔道整復 専科教員

インタビュー

ファイティング原田

[日本プロボクシング協会会長]

INTERVIEW
GEN IWANO × FIGHTING HARADA

自己治癒力に着目した自律神経免疫療法で、トータルケアを提供する



術を加えればその効率を高め、早く改善へ向かうようになります。

原田 自己治癒力は最近注目されていますよね。具体的にどのような施術を。

岩野 私は「全国冷え症治療協会」という免疫療法の研究会にも所属しているのですが、多くの方にとって「冷え」はたいした症状ではないというイメージがあると思います。しかし実は自律神経の乱れを表す症状の一つなのです。つまり「冷え」を取り除けば自律神経の乱れが整えられるわけですから、温熱器を利用して神経に刺激を与え、全身の自律神経のバランスを整えることが施術のベースとなります。

原田 なるほど。薬などを使うわけではありませんが、最近「爪もみ」という言葉を聞いたことはないでしょうか。手の爪の両脇に刺激を与え、交感神経や副交感神経を活性化させるのですが、「安保―福田理論」では強い磁気の棒、「接触針」を使用し少し痛いくらいに押しつけて刺激を与えます。これは自分の指でもできるものですが、こうして爪の先の血流を変えると全身の血液の流れも変わっていくのです。

原田 実に面白いですね。お越しになる患者さんはどんな年代の方が多いのですか。

岩野 年齢層は様々ですが、地域のスポーツ団体がスポーツを楽しんでおられる方も多く来られます。特に中高生の部活で体を傷めて来られた場合は保護者や先生に丁寧に説明するよう心掛けています。先生には手紙で説明することもあります。先生はまた、出張での施術も行なうことがあります。

原田 スタッフは何名おられるのですか。

岩野 九人で、この辺りでは多い方だと思います。ちなみにベッド数は当初五台を用意していましたが、足りなくなっていました。またしたので三台を増設致しました。

原田 スタッフの皆様は日頃おっしゃっていることがあればお聞かせ下さい。

岩野 「来院者さんの些細な変化を見逃さないように気を付ける」ということです。当院にはお年寄りも若者も来られます。皆様それぞれ表情の出し方も違いますが、いつもと違う表情をされていたらきちんと対応をする必要があります。また、体ではなく精神的に弱っている場合もありますので、普通なら見過ごすようなことも私どもは充分に気を払うことが重要になってきます。小さな変化を見逃さしたために良くない結果を招く恐れもありますから。

原田 大きな責任感を持って取り組まれているんですね。さて、今後の展望としてはどのようなお考えをお持ちなのでしょう。

岩野 これまでケガをしたら整形外科と接骨院とどちらに行こうかと悩まれる方が多く、役割分担があまりはっきりしていません。最近はかなり使い分けをされているように感じています。例えば骨折した部位

などの一部分を診てもらって治療なら整形外科に足を運ばれた方がいいでしょう。そしてレントゲンを撮って、快方に向かうまで具合を見て頂ければと。その後、リハビリをどこでするかというところは接骨院をお勧めしたいと思っています。接骨院は一部分ではなく体全体を診ることが出来ます。また、整形外科よりも時間を掛けることも可能になります。

原田 確かに接骨院なら一人二十〜三十分掛けてもらうことも出来ますが、整形外科ではなかなかそうはいきませんものね。

岩野 皆様にはこういった違いを踏まえて、その時々に合わせて使い分けて頂きたいと思っています。実際に世の中はこのような方向に流れ始めていますので、私もももそれに乗り遅れないよう最新のノウハウの機器の導入や「安保―福田理論」の実践などを通して、更に多くの方の施術に当たっていきたくと考えています。

原田 今後も地域の頼れる存在として活躍下さい。私も応援しています。

①INFORMATION



原田氏で体験する機器製の施術